

大津町の「議会だより」が熊本県町村議会 広報コンクールで特選を受賞！



応募のあった30町村のなかの最優秀賞にあたり、2期連続の受賞です。
結果に甘んじることなく、より伝わる議会だよりとなるよう精一杯努めます！

議会広報編集特別委員会

議長：桐原 則雄
発行責任者
委員
山本 富二夫
山部 良二
三宮 美香
副委員長
金田 英樹
委員長
豊瀬 和久

編集後記

議員生活も3年目にはいり、議会だよりの発行も8回を迎えました。未だに先輩議員からの確かな指導を頂き、なんとか議会だよりの原稿を書いている状態です。

議会だよりの県コンクールにおいて、2回連続の特選を頂きました。

今からも議会だよりを皆様に読んでいただける紙面つくりにあえず心掛けたいと思っています。

平成31年は平成から、5月には新しい年号になり、議会だよりも皆様に読みやすい、紙面つくりを毎回心掛けていきたいと思っています。

(山本)

傍聴に来てはいよ

議会はどなたでも自由に傍聴できますので、ぜひお気軽にお越しください！

●日程●

3月4日(月)～
18日(月)予定

●会場●

オックスプラザ 2階
ふれあいホール



お・お・お・お
議会だより

平成31年2月1日

第86号



平成31年大津町消防出初め式

特集！
「議会傍聴アンケート」「議会だよりハガキ」
からのご意見……………14～15
尚絅大学生によるレポート
……………16



50
FONT
更やうく読みやすくなるように
フォントを採用しています。

この議会だよりは
リサイクル推進のため
再生紙を利用しています。

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	桐原 則雄	府内 隆博	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	手嶋 靖隆	坂本 典光	大塚龍 一郎	源川 貞夫	本田 省生	佐藤 真二	豊瀬 和久	金田 英樹	山本富 二夫	山部良 二	三宮 美香	賛成 (○)	反対 (●)
大津小学校校区学童保育施設、室小学校校区学童保育室及び護川小学校校区学童保育施設の指定管理者の指定について	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
美咲野小学校校区学童保育施設の指定管理者の指定について	—	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
その他の議案については議会ホームページ、会議録をご覧ください。

詳細は
こちら



大津町議会 検索

大津町議会HP会議録

学童保育施設の指定管理者の指定について

討 論 反 対

心苦しいが反対の立場を表明する。
選定された法人が悪いと言っているわけではない。
選定、審議、今後の管理体制のあり方に不備があり過ぎるということで、この契約は成り立たないと思う。
今後5年間の契約期間の監視体制を作り上げて、この体制で子どもたちを守っていくという担保がなく、検討するという段階では契約すべきではない。



永田 和彦
議員

討 論 賛 成

モニタリング（状態を監視すること）の体制は今後整えていくということだが、今もない訳ではない。毎年6月に事業の報告会を行い選定委員会が判断をしている。その質を更に高めるために、県の指針並みのモニタリングを行っていくということだ。
「選定に関する信頼性」に関しては、専門家が審査して選定したものを信頼して議会としては審議することになっている。



佐藤 真二
議員

新庁舎 実施設計完了 いよいよ工事調達へ！

町議会は1月9日・16日、新庁舎建設特別委員会（津田桂伸委員長 8人）を開き、新庁舎設計の最終案並びに工事工程を確認しました。庁舎の竣工は来年10月末となります。

また、町執行部より工事調達方針（案）の説明があり、意見を求められました。本特別委員会の報告は、1月16日開催の議会全員協議会で行われ、町執行部には、「会議での意見を参考に、調達の手続きを進めてもらいたい」と答申をしました。

なお、今回の両会議については、案件の重要性と関係者へのプライバシーを考慮し、入札に支障が無いようにするため、非公開の秘密会としました。入札後は、会議録等の公開をしますので、議会事務局までご連絡ください。

☎(096) 293-8989



12月定例会は、7日から14日までの8日間の会期で開きました。

町長提案の学童保育施設の指定管理者の指定、一般会計補正予算をはじめ条例改正など12件の議案を審議し可決しました。

また、新たに、熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員に佐藤真二議員を選出しました。

一般質問には、9人が登壇しました。

議案質疑では、個別事業に厳しい指摘（一部抜粋）

学童保育施設の指定管理者の指定について

永田 和彦議員

Q 指定管理が5年間と長い。
5年間、安定して運営されているのかを管理する体制が必要ではないか。



荒木 俊彦議員

Q 指定管理者を選定するための審査結果の配点が低いのではないか。
この点数になった理由は何か。



A 定期的なモニタリング（状態を監視すること）と現地調査を行う。施設も独自で利用者からのアンケート調査を行い改善を図っていく。

A 今回の審査では全ての項目で優れているという判断の配点となっている。

一般会計補正予算について

豊瀬 和久議員

Q 投票率を上げるためには期日前投票の利便性向上が必要。
4月に行われる統一地方選挙での期日前投票はどこで行う予定なのか。



佐藤 真二議員

Q 地域づくり活動支援事業費が増額になっている。どのような理由で増額になっているのか。



A これまでは高校で期日前投票を行うなどの取り組みを行ってきたが、より効果の上がる方法として大型店舗における期日前投票を検討している。

A 申請案件中、22地区の取り組みが終わり、10地区が残っている状況。
内容を確認したら増額が必要となった。防災資機材の購入、美化作業、こども会や敬老会の活動等である。

山本 富二夫議員

Q 小学校・中学校の雨漏り対応の予算が計上されているが、特に中学校の予算が少ないのでは。



金田 英樹議員

Q 学校の補修については、そもそも継続的に良い施設環境を保つための長期計画や把握・補修サイクルの整理が必要では。



A 今回は一部を予算化し、新年度予算において大規模改修等を考えている。再来年度までには雨漏り改修を終わらせたい。

A 施設管理計画を次年度以降に整備し、建替えや普段の維持管理方法も盛り込みたい。

経済建設委員会 レポート

室地区の水路改修は 復興基金創意工夫分を活用して



水路改修地

Q 事業費が大きいが、財源は一般財源しかないのか。また、最初は水路の復旧は難しいとのことだったが。

A 室地区水路改修工事の財源については、今回は一般財源で計上した。県から交付された復興基金創意工夫分を活用したいと考えており、現在も財政課が県と協議を行っている。改修予定の水路の一部が個人のものであり、公費での復旧は難しいため、改修方法等を検討している。

計していた。その後、受益者が県に申請しているグループ補助金を活用し、個人設置部分を施工できることになり、町と受益者との協力して水路復旧する見通しとなった。

補正予算成立後、受益者が施工して来る箇所に向かって受入水路施工から始め、下流から順次水路整備を行う。

Q 矢護川地区の圃場整備事業は、平成33年度に着手できると考えていいのか、伸びるのか。

A この圃場整備事業は真木と矢護川の2地区を対象として、最短期間で平成33年度の事業着手に向け推進を図っている。

文教厚生委員会 レポート

事業の「見える化」と進む「整備」

A 使用目的ごとに照明器具を3パターンにパッケージ化する案がある。

例えばセットAは会議の説明会、セットBは講演会、セットCは幼稚園やダンス発表会など。



文化ホール

Q 文化ホールを借用する場合の付属設備の使用料がわかりにくい。利用パターンで組み合わせはできるか。

A 文化ホールを借用する場合の付属設備の使用料がわかりにくい。利用パターンで組み合わせはできるか。



学校の雨漏り時の状況

Q 学校施設の整備計画は、今回、特に緊急性が高い箇所の修繕を12月予算に計上している。雨漏りについては、平成31年度に残りの校舎部分を中心に修繕予定。来年度以降、学校施設の個別整備計画を策定する予定。点検等は、屋根部分は毎年、専門の防水業者に点検清掃を委託できないか。また、屋根以外の建築物についても点検を検討している。

Q 学校施設の整備計画は、今回、特に緊急性が高い箇所の修繕を12月予算に計上している。雨漏りについては、平成31年度に残りの校舎部分を中心に修繕予定。来年度以降、学校施設の個別整備計画を策定する予定。点検等は、屋根部分は毎年、専門の防水業者に点検清掃を委託できないか。また、屋根以外の建築物についても点検を検討している。

学校施設の整備計画を進めよう！

総務委員会 レポート

持続可能な公共交通を目指し、 公共交通ネットワークの利便性向上を

Q 公用車を運転するにあたって、アルコールの検査は。

A 震災前は、各課にアルコールチェッカーがあり使用していたが、現在、アルコール検査は実施していない。



先進地・長洲町のきんぎょタクシー

Q 地域公共交通網の見直しは。

A 今年度は、産交バス「内牧環状線」を廃止し、それとあわせた「乗合タクシー」の対象地域拡大により利便性向上を進めていく。

Q 免許証の自主返納を促進する施策は。

A 現在検討段階。この制度は、高齢者の交通事故防止が主な目的であるため、交通安全担当と一緒に検討していく。



アルコールチェッカー

今回の事例を踏まえ、アルコール検知器の導入を検討する。

Q 今回の酒気帯び運転を踏まえた対応は。

A 予算化も含め、できるだけ早急な対策を検討する。

Q 大津町政から大津市制へ

A 都市計画マスタープランを策定中



JR瀬田駅周辺

山本 富二夫議員

Q 大津町が市制へと発展していくためには、今から家入町長が大胆な発想をして、瀬田駅周辺の大規模な開発の計画を立案してはどうか。

A 菊陽町は西部地区への大型商業施設の誘致で現在の姿があり、大きく発展した。瀬田駅周辺には未開発の広大な土地があり、大津町が大きく発展する地域だ。

現代は、グローバル化の大学が社会や企業から求められる時代だ。A 夢あるものをつくるという形になると、都市計画法や農業振興関連をクリアしていかなければならない。これからの金入り、物入りといううな中で対応できない。いろいろな形で地域の開発関連等に取り組んでいく。(町長)

その他の質問

1. 上井手沿いの遊歩道整備をし観光客誘致をする考えはあるか
2. 大津の景観を守るための対策を

Q 町のスポーツ資源と立地を生かした地域・経済の活性化

A 町が主体となって実施する方向で進める



金田 英樹議員

Q 町が中心となり、官民協働で大会誘致、相談対応、情報発信、人材育成を推進する「地域スポーツコミッション」を立ち上げる考えはないか。

A 行政やスポーツ団体、民間企業等が一体となり取り組むことで、新たな経済効果や、スポーツを通じた多様な社会的効果を期待できる。今なら設置にあたって国からの補助金も活用できる。

これまでに観光協会などより反省すべき点もある。指摘のように、軌道に乗るまではしっかり町でやらなければならないと思っている。町の商業観光課を主体に、総合型スポーツクラブ、BPO法人クラブおおづや関係団体と連携して進めたい。クラブもおおづも業務が多忙なので我々も力を入れて支援する必要があると考えており、クラブへの地域おこし協力隊の派遣も検討している。提案にあった先進地(若手県北上市)は町担当課で視察を行い、関係団体と相談しながら今後の方向を決めたい。新年度に向けては、町主導型でやるための関係部署などの整理・検討もしている。スポーツ庁の補助金も申請する方向で進めたい。(町長)

その他の質問

- ・小中学校における標準服の意義

町政を問う 12月定例会

一般質問

9議員が質問に登壇！

大津町のさまざまな課題等について、議員が町に考えを問うのが一般質問。議員は政策提言も含めて、質問することができ、内容は自由です。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせいたします。

1. 豊瀬 和久議員
2. 山本 富二夫議員
3. 金田 英樹議員
4. 永田 和彦議員
5. 山部 良二議員

6. 佐藤 真二議員
7. 坂本 典光議員
8. 三宮 美香議員
9. 荒木 俊彦議員

Q 性的少数者(LGBT)へ配慮する取り組みを

A 多様な性を認め合う社会を目指す

投票券性別欄 大津町が削除 来春県議選から

大津町は12日、性的少数者(LGBT)の町民に配慮するため、選挙4月の県議選から投票券性別欄を削除することを明らかにした。定例議会での一般質問に答えた。

入場券の記載事項、公選法の規定はなす自治体の裁量で決まると、市民グループ「まにじ」の調査によると、県内では熊本市、代、荒尾の3市が既に投票券に性別欄を削除している。

12月13日付 熊日新聞記事

豊瀬 和久議員

Q 性的少数者(LGBT)の方々に窓口で適切な対応をするための指針の作成と研修の実施状況は。

A 申請書や発行書類について事務上必要とするものを除いて、性別欄を削除するべきだ。特に、選挙に関する書類の性別表記や性別記入欄をなくすべきだと思うがいかがか。

性別を問わずに利用できる「誰でもトイレ」を公共施設へ設置していくべきではないか。

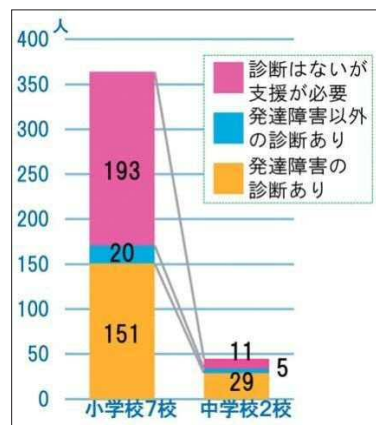
性的少数者に関するサポートマニュアルを作成し、抱えている困難等について十分理解し、寄り添った適切な対応を心掛けたい。申請書等を点検し、必要のない性別欄を削除することを検討している。4月に予定されている県議会議員選挙では、性別欄を削除した投票入場券を送付するように準備を進めている。性別に関係なく、使用できるトイレについては、できるところから順次設置していく。(総務部長)

その他の質問

- ・持続可能な地域社会の実現に向けた自治体SDGsの推進について
- ・避難所の環境改善・整備(小中学校の全体育館へのエアコンの設置)について

Q 特別支援、小中学校の切れめのない継続を

A 実態をしっかりと把握する



障がい児在籍状況…小中学校のギャップ

その他の質問

・債権管理条例の制定が必要ではないか

佐藤 真二議員



Q 障がい児の在籍状況の調査を見ると、小中学校間に不自然なギャップがある。心配なのは、小中学校で支援が必要と考えられていた子が中学校に行ったら支援は必要ないと考えられてしまうこと。

A 個別の教育支援計画等を作成し、校種が変わる際にも内容を引き継ぐことにしている。指摘があった中学校に入ってから支援についてはしっかりと実態を把握していきたい。

(教育長)

Q 発展地域の研修

A 職員の資質向上に重要

坂本 典光議員



Q 大津町、菊陽町、合志市の人口は増加しているが、熊本県で人口が増えているのはこの地域だけである。日本全体であれば、少子高齢化が進み、大都市への人口の集中が進行している。熊本県の今の人口は175万6000人、一方人口の集中が続く埼玉県は730万人である。埼玉県の中でも東京に近い和光市は介護の分野で日本のトップを走っている。戸田市は開発で農地がほとんどゼロになった。農政費が要らなくなったので、教育費に多くの予算を使って

いる。一方、地域に根付いた農業者がいなくなったので地域の担い手もいなくなった。学校では協力を企業に求めている。大津町とは環境が違うが課長、係長はこういう世界も勉強しておく必要があるのではないかと。A 所属の業務を主導していく課長や係長が問題意識を持って先進自治体を訪問し、研修の成果を持ち帰り調査・研究を行って、本町の事業に生かしていくことは、職員の資質の向上や人材育成の観点から最も重要だと認識している。(町長)



精神に障害のある方が制作した製品

その他の質問

・再建途上にある都市の研究
・学校の情報公開

Q 主権者教育で投票率を向上すべし

A 義務教育においても、将来の有権者を育てたい

永田 和彦議員



私たちが拓く
日本の未来
有権者として求められる力を
身に付けるために



その他の質問

・報酬の適正支出について

Q 日本では、棄権・白票は政治不信の表明とそれなりの意義を認める論調も多いが、欧州では優勢な候補を利用だけの無意味な行動とされる。欧州の中学、高校では選挙への対応を授業で具体的に学ばせているのは、主権者となり国づくりへ参加する為の事前教育だからである。

A 新しい学習指導要領では、従来以上に主権者教育の充実が求められている。義務教育において社会参加や政治への関心を持つことを児童会や生徒会で取り組み、ボランティア活動などや地域社会と連携した教育実践などを通し将来の主権者を育てていきたい。(教育長)

Q ごみ収集問題について、早急な対策を！

A 住民サービスの向上に努めていく

山部 良二議員



Q 2年後にはエネルギー回収型廃棄物処理施設が合志市にできる。収集作業にも影響が出るのは必至で、また、ごみ収集問題について、アンケート調査を実施した。内容としては、「ごみ箱からごみが溢れている」「収集車の運転のあり方を見直すべき」や「作業人員が足りなくて、今の現状ならば改善が必要」などの多数のご意見があった。調査した限りでは、バツカー1車2台の増車が必要となる。また、地域間格差を解消するためにも高齢者な

どへの戸別収集を提案する。A ごみ収集は、住民の生活に直結した課題。今後、アパート等の開発に伴うごみの増加や、収集場所の広域化も踏まえ、収集車の台数や収集時間等が適切か委託業者ともに検証していく。(町長) A 現在、高齢者などへの対応として、まごころ生活支援事業等を実施している。今後、利用者にも好評な支援サービスにさらに拡大し、住民サービスの向上を目指す。(住民福祉部長)



大津町ゴミ収集作業

その他の質問

・障がい者雇用・就労・福祉について

町PTAの皆さん × 文教厚生委員会

初めての意見交換会 11月28日

教育委員会の対応を注視している
(議員)



会長・母親部長
支援学級の代表
20名の参加

荷物が重く、学校の
収納棚が小さい
(小中学校)



スクールバスの便
数増加 (中学校)

大津北中学校区へ
の教育支援セン
ター設置
(中学校)

様々な個性にあわせ
た機器や施設の整備
を (支援学級)

ICTは遅れており、教育
委員会が優先順位をつけ
て計画している (議員)

制服の着る順番に
ついて (小学校)

愛校作業について
(小中学校)

地域未来塾も併せて
話している (議員)

議員研修会 レポート

『町議会の現状と今後の展望 ～これからの地方自治とは～』



1月11日(金)に、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏をお招きし、議会議員研修会を開催しました。
議員の他、希望する役職員の参加もありました。地方議会の役割は変化しています。
立法機関として決定・提案・民意を集約する役割、執行部をチェックする役割へとシフトしていて、大きく議会の役割が問われる時代となっています。

振興総合計画がまちづくりの目標となり、目標が明確になることで、思考・行動が変わります。
次世代を担う若者と夢や未来のまちづくりについて対話しながら、地域課題を解決し、イノベーションを創出する議会を目指していきます。



Q 不登校・別室登校の生徒にも教育機会の保証を

A 計画的に学習できるように取り組む

三宮 美香議員



教育支援センター

Q 2017年に、不登校の児童生徒の支援を進めることを目的にした「教育機会確保法」が施行された。こうした子どもたちが教育を受ける機会を確保するための施策を国や自治体の責務として必要な財政上の措置を講ずることを求めている。大津町にも不登校や、教室に入らず別室登校している児童生徒が増加している。勉強が嫌で不登校になっているわけではないならば、教育を受ける機会をきちんと保証すべきだ。

A 不登校対策としては「愛の1・2・3運動+1」の実施を推進し、各中学校においては教育相談員を配置して対応している。教育支援センターはより効果的な運営が図れるように検討する。他市町の機関については必要に応じて見学・研修を考える。(教育長)

その他の質問

・いじめ防止基本方針策定後の実際と効果は

Q 幼児教育・保育無償化と保育士の処遇改善を

A 待機児童解消に向け、保育士の現状を調査する

荒木 俊彦議員



【幼児教育・保育の無償化予定】(2018年資料)

○時期 2019年10月から予定

○認可保育所、幼稚園、認定こども園など

○0～2歳児 住民税非課税世帯のみ無償化

○3～5歳児 全世帯無償化

予想される問題点

▲保育所に入れない待機児童の増加

▲子どもたちの命を預かる保育士不足

▲財源約8000億円は消費増税

子育て世帯もずーっと増税

保育園・幼稚園などの入所定数

2018年 4月現在	保育園	幼稚園 他	合計
定員人数	1,120	766	1,886
うち0～2歳児	519	51	570
うち3～5歳児	777	433	1,210

その他の質問

・あまりに高すぎる国保税の軽減が必要
せめて子どもへの課税の軽減を

Q 来年10月から保育園、幼稚園、認定こども園など幼児教育・保育の無償化が予定されている。無償化は大歓迎だが、①保育希望が増えて待機児童が増えるのではないかと。②子どもたちの命を預かる保育士の確保のため、処遇改善が必要である。賃金給与などの実態調査が必要ではないか。幼児期の良質な保育は、将来の豊かな社会につながると思われる。安

A 心して預けられる保育の充実を求めている。町の保育ニーズは年々増えている。保育所の定員増を進めているが、現在も待機児童があり、無償化による影響は少ないと考える。待機児童の解消のためには、保育士の確保が欠かせない。町内保育所勤務の保育士を対象にアンケート調査を実施して、保育士の確保の施策を充実したい。(教育長)

文教厚生委員会 研修レポート

研修テーマ（埼玉県）11月14日から16日
① 地域包括ケアシステム（和光市）
② 地域包括ケアシステム（和光市・社会福祉協議会）
③ プログラミング教育（戸田市）

① 地域包括ケアシステム

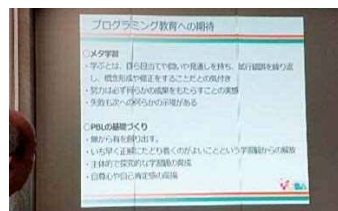
和光市の地域包括ケアシステムは全国的に最も先進的と言われています。

その中心的な、介護保険事業について「保険者である市町村が、いかに保険者としての役割を発揮するか」を考えることが重要であり、その本質はニーズ調査の重視、ケア会議の充実にあるとの指摘がありました。

ニーズ調査では、アンケートだけでなく、訪問による聞き取り調査と合わせて計画を作ること、きめ細かな無駄のないサービス提供ができることなどの説明を受けました。

③ プログラミング教育

プログラミング教育は、再来年度から小・中学校で導入されるもので、戸田市は先行実施しています。戸田市では、教育委員会主導で、産官学民の連携に



戸田市教育長の説明用資料
「プログラミング教育への期待」

この他、11月15日は和光市社会福祉協議会、埼玉県障害者交流センターで研修を行いました。

議会広報編集特別委員会 研修レポート

研修テーマ（長崎県）10月1日から2日
広報・公聴に関する取り組みについて
（時津町・長与町）

広報・公聴に関する取り組みについて

時津町では、定例会終了後から発行までのスケジュールが約1ヶ月と本町より早く発行されていました。

そのほかにも、一般質問の結果を追跡する「追跡レポート」や大きな事業を議員の視点で記事にした「議員レポート」などの特徴的な取り組みをされていました。



長与町では、一般質問ページにQRコードを掲載し深い内容をホームページなどから確認できる取り組みをされていました。今回訪問した2町とも、先進的な新しいことを取り入れていく姿勢がありました。本町でも、新年度に向け、紙面の刷新に取り組み、より一層、町民の皆様に関われる議会だよりを目指していきます。

総務常任委員会 研修レポート

研修テーマ（兵庫県）10月15日から17日
① 公共交通網の整備 ※空き家バンク（上郡町）
② 人材育成事業 その他 新庁舎建設（朝来市）
③ 公共交通網再編計画実施後の状況・実績（宍粟市）

① 公共交通網の整備

上郡町では、もともと路線バス1社が、運行していました。しかし、周辺部集落の高齢化が進み交通空白地区をカバーするため、デマンドタクシー・コミュニティバスを導入し利用者が数が増えており、大津町でも参考になると考えられます。

② 人材育成事業

朝来市では、合併し面積も拡大になる中で、人口減少が止まらないことから、20歳から40歳代までをターゲットとした企業支援のセミナーなど「ASAGONG人材育成プロジェクト」に専門職員を配置して若い人たちの人口増加に力を入れています。

※その他 新庁舎建設



③ 公共交通網再編計画実施後の状況・実績

宍粟市では、路線バス・コミュニティバスの利用着数が5年間で4割減少したため、コミュニティバスを廃止し、事業者を統一して交通空白地区を解消しました。幹線には大型バス・枝線には、ワゴン型を走らせています。

経済建設委員会 研修レポート

研修テーマ（千葉県）10月10日から12日
① 道の駅を発信基地とした取り組み（南房総市）
② スマート農業（クボタ）（千葉市）
③ 株式会社フレックス（町の誘致企業）（船橋市）

① 道の駅を発信基地とした取り組み

約20年前に建てられた、道の駅、「とみうら枇杷倶楽部」を訪ねました。副社長 加藤さんより、初年度から赤字を出さずに運営をしてきた話を聞きました。

南房総市には、これと言った観光地はなく、枇杷倶楽部単独では集客力は知れています。

地域全体を見て産業や農業を抱き込み旅行会社などに地域の特性を活かし、観光バスで多くの観光客に来てもらう誘致の営業をしています。



② スマート農業（クボタ）

幕張メッセでの「国際次世代農業EXPO」において、未来型農業機械等を見学しました。

まず、クボタのスマート農業戦略についての講演会を聞き、農業機械の無人化が思った以上に進んでいることがわかりました。

10年後の農業はAI等の電子機器の発展により自動化が進み、1人の農家が20〜30ヘクタールを耕作できます。

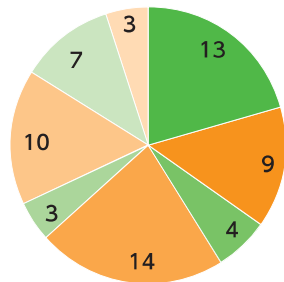
町も自動化農業機械で作業ができる基盤整備が考えられます。

③ 株式会社フレックス（町の誘致企業）

町内にも事業所のある、水道管の継ぎ手の専門メーカーを視察しました。国内トップシェアで、半導体製造も手掛けています。毎年地元の高校から数名入社している企業です。

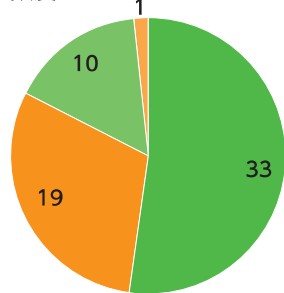
アンケートの集計結果（回答数：63）

① 傍聴者の年代



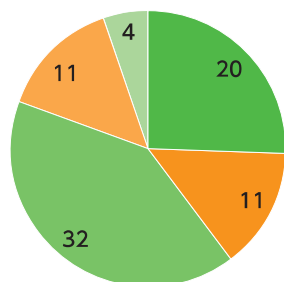
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代
■ 50代 ■ 60代 ■ 70歳以上 ■ 無回答

② 傍聴の頻度



■ 初めて ■ 時々来る ■ よく来る ■ 無回答

④ 傍聴に来やすくするには…（複数回答可）



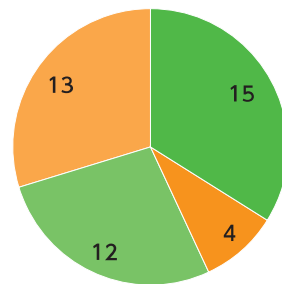
■ 休日の開催 ■ 夜間の開催
■ もっと議会日程の情報発信を行ってほしい
■ 特になし ■ その他

☆ 1年間の傍聴者数（H30年）

開催月	傍聴者数
3月	39
6月	63
9月	55
12月	55
合計	212

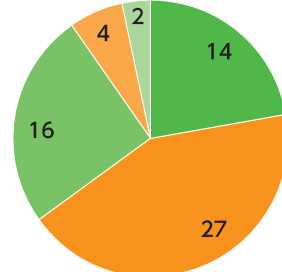
※常任委員会の傍聴者含む。

③「初めて」傍聴に来た理由（複数回答可）



■ 前から一度来てみたかった
■ たまたま時間があつた
■ 議題の内容に興味があつた
■ その他（大学の授業の一環など）

⑤ 傍聴の満足度



■ 満足 ■ まあ満足 ■ どちらともいえない
■ やや不満 ■ 無回答

「議会傍聴アンケート」および「議会だよりハガキ」からのご意見

※皆さまからの貴重なご意見、ご要望を大切に、議会として様々な政策提言や議会改革に取り組んでいきますので、今後ともよろしくお願いいたします。



① アンケートの感想

良いと感じた点

- 議会の仕組みや質問の流れ、内容を知ることができた。
- 議員が町長に対して行う一般質問の回答に対して、更に踏み込んだ質問があった。
- 議会の取り組みを初めて見たが、町の取り組みやそれを決める場を知ることができた。
- 説明資料などの配布資料があり理解度が深まった。
- 高校生や大学生の傍聴が多く、努力の素晴らしさに対して感心した。
- 今後の行政に関し、住民もきちんと学び、考えなければと思った。

問題だと感じた点

- 説明資料や予算内容が難しく、解らない単語が多かったので、傍聴者への配慮もほしい。
- 質問に対する町の回答が噛み合わない点や議論の停滞及び明確な回答が欲しい。
- 質問に対する回答で検討や曖昧さを感じた。
- 議会で質問をする内容なのかと思う点もある。

② 議会への提言・意見、および議会だよりで関心のある記事や感想

- 通学路の安全対策で、子どもたちや地区住民の安全確保を進めて欲しい。
- 中高校生の夢議会で、自分の意見を持ち立派であり、将来のことを考える子どもたちを大事にしたい。
- 小中高校の職員不足や学級が機能していない学校など、厳しい点があるので対応をしてほしい。
- 若い世代の参加を促すのは大変重要だと思います。
- 議会広報も読みやすくなり、今後も期待します。
- 学童スポーツクラブのサポーター募集など、習い事と同様に月謝制にして、プロの指導者を雇うべきでは。
- 大津駅周辺の活性化や地域振興のため、親子で楽しめる遊び場や高齢者向けの遊べる空間や場所を増やして欲しい。
- 役場庁舎の検討状況を取り上げていただき、次世代に誇れる庁舎であって欲しい。

ぼう ちょう しゃ 傍聴者の声

傍聴者数のべ55人

皆さまの感想を
聞いてみました！

議員は常に住民と共に
いる



熊本学園大学
経済学部1年
森川 開仁さん

傍聴で学んだことが2つあります。1つ目は議員の方々の仕事をより深く知ることができました。議員が町のことに対してどのような思いで取り組んでいるのか、特に一般質問の際には思いがとても伝わってきました。議員は常に町の人たちと一緒にいる、皆さんにはそのことを知っていただけたらと思います。2つ目は仕事の捌き方についてです。町の人にも、議員や職員にもそれぞれ思いや意見があり十人十色です。どう取捨選択するかはとても難しく、いい所を取り入れつつも金銭的に不可能な所は捨てなければならぬ。議論を繰り返して、実行に移す執行部や町長、議員の方々はとても大変な役目だと思いました。

町民の代表としての
問題点の指摘をする



下町 勇さん
帆保

質問にあたって、近隣の事情を調査され、他の市町村議員と研修・交流会などされ、他市町村の資料等を収集し、比較しながらまちづくりを考えておられた。町民の代表として、住民からの疑問などの身近にある問題、将来の理想社会に近づけて繁栄する地域づくり、特に中心部から遠く高齢者率が高い集落の運営がなくなる地域住民の生活確保などを問題視されていた。質問にあたっては事前の情報収集や現地確認のため、行動・時間・労力等が必要以上にかかることを考えさせられました。町の将来の基本構想・基本計画等に沿った町ができあがればと思っています。私たちが安全で安心して生活できる住みよい地域づくりのために今後も活躍してまいります。

町の皆さんにもぜひ「傍
聴」に足を運んでほしい



美咲野 由美さん
佐藤

これまで「傍聴」は、私にとって堅苦しそうで遠い存在でした。ですが子育てを日々送っていく中で「こみ収集問題」や「小中学生の登下校における荷物の重さへの対策」等々、テーマはどれも私にとって密接で関心のある内容でした。自分の身近な事が議論され前向きな解決策を検討されている姿、それから議員さん方がどれ程町全体が住みやすい町になるよう小さな事から大きな事まで愛情を持って考えておられるのが、ひしひしと伝わり質疑応答を聴いていて、更に大津町に関して興味を持つようになりました。今後多少時間がとれる限り「傍聴」に行かせて頂こうと思います。自分の住んでいる町が、今どの様な問題を抱え、町全体の計画として考えているのか、住んでいるからこそ興味です。町民の皆さんも時間があれば傍聴に足を運んで下さい、きっと見方が変わると思っています。

尚綱大学生によるレポート15

今回は議会傍聴後に、大学キャンパスで議員の方々との意見交換会をおこないました！

議会傍聴「傍聴をして変わった意識」

私たちは、社会調査法という授業の一環として大津町議会の傍聴をしました。

予算案では、放課後支援施設指定管理者の決定について議論がなされていました。真剣に議論されている姿からは、大津町の未来である子供たちの周辺環境を本気で守って、作り上げていきたいという熱意が伝わってきました。

一般質問では、1人の議員に対し1時間と決められていたためか、濃い質疑応答の時間であったのではないかと思います。とてもスムーズに議論がなされているので、最初は台本通りに進む議会なのだと感じました。しかし、追加の質問をされても、しっかりと答える町長や他の職員の方をみて感銘を

受けました。

私たちの共通認識として、議会はとても硬い雰囲気で行われていると思っていましたが、傍聴した日によつては、穏やかに質疑、討論が行われていたことに驚きました。



発表者メンバー
・末山、直井、後藤、松成、興梧
文責
・興梧

交流会

「まづかで交流して気づくこと」

今回の議員の方々との交流会は、私たちにとって貴重な経験となりました。

まず、議員の方々に自己紹介をしていただきました。その中で、もともとは農業やJ.Rなどで働いている一般の町民の方が議員をされていることを知り驚きました。この活動内容は多岐にわたたり、この交流会を通して、選挙に行くことの大切さ、選挙権の重みを改めて感じました。

議員の方からも学生に対し「傍聴して議員になった」と思ったか、興味を持ったか」等の質問がありました。それに対し、学生側から「議員や議会というものに硬いイメージがあるため、今回の交流会のように、議

員と町民が触れ合える機会を設けるといいと思う」といった意見もありました。また、議会傍聴をしたことがない学生の意見も聞いてくださり、傍聴するだけでなく、そのあと自分がどういう考えを持ったのかまとめられる機会にもなり、とても有意義な交流会となりました。

